



Title	大阪消化管がん化学療法研究会(OGSG)のあゆみ(2) : 平成13年1月～12月
Author(s)	古河, 洋
Citation	癌と人. 2004, 31, p. 15-16
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/23685">https://hdl.handle.net/11094/23685</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 大阪消化管がん化学療法研究会 (OGSG) のあゆみ (2)

——平成13年1月～12月——

古 河 洋\*

大阪消化管がん化学療法研究会は2000年4月に発足した、胃癌、大腸癌、食道がん治療の多施設研究グループです。今までに12のプロトコールをつくり、8つの試験が終了し、海外・国内の学会でその成果を発表してきました。現在、論文にまとめてJCOなど海外の雑誌に投稿するところです。

## (1) 平成13年の研究会活動

1) 研究会(委員会)：全員参加の勉強会(委員会)です。

2月5日(73人)：Prof. Kohne C-H(Dresden)のヨーロッパにおける大腸癌の化学療法についての講演会を開催。

3月12日(40人)：通常の委員会。

5月7日(75人)：中村裕輔教授(東大)「遺伝子診断と臨床共同研究」についての講演会を開催。

6月17日(36人)：通常の委員会。

8月4日(40人)：通常の委員会。

9月16日(38人)：通常の委員会

12月1日(90人)：Prof. Jean-Yves Douillardヨーロッパにおける大腸癌に対する化学療法についての講演会を開催。

2) 小委員会

1月18日 OGSG 0203 CPT-11術後投与はいいか?

OGSG 0301食道癌I相試験(平尾Dr.)について

3月26日 OGSG 0104, OGSG 0105の判定。

OGSG 0104はRRが低く、Phase IIに進むかどうか再検討。

OGSG 0105はPhase IIをスタートする。  
10月10日 大腸癌プロトコールA案、B案C案について。

OGSG 0105第II相試験#2-21-2-40の効果判定。

10月28日 「前治療に化学療法を有する再発食道癌に対するTXT+5-FU併用療法と放射線照射同時併用療法のI/II相臨床試験」食道癌に対するI/II相試験(田村先生)。  
大腸癌のプロトコールについて：OGSG 0102を1月末までに終了して開始する。

3) セミナー：8月23日六甲オリエンタルホテル  
1. 「医師主導型臨床試験の現状と展望  
—CROの立場から—」 奥山真一  
2. 「CRCの立場から」 野中美和  
3. 「モニターの立場から」 松村有起子  
4. 「製薬会社の立場から」 鈴木英明  
5. 「医師の立場から」 島田安博

4) NPO設立委員会・総会

9月24日OGSG/NPO 設立総会開催。  
「特定非営利活動法人 臨床試験推進機構」の定款を提案し、採択された。

10月1日 大阪府NPO法人課に書類提出。  
.....1月末に認可される予定。

5) 学会発表

OGSG 0002 phase I/II 日本胃癌学会(東京)  
藤谷先生

OGSG 0101 phase II ASCO(Chicago) 03/06  
橋原先生

OGSG 0002 phase II ASCO(Chicago) 03/06  
平尾先生

OGSG 0105 phase I ASCO(Chicago) 03/06  
藤谷先生

\* 市立堺病院院長

OGSG 0104 phase I 国際胃癌学会(ローマ)  
03/08 青木先生  
OGSG 0105 phase I 国際胃癌学会(ローマ)  
03/08 藤谷先生  
OGSG 0202 phase II 国際胃癌学会(ローマ)  
03/08 田野先生  
OGSG 0105 Phase II 癌治療学会(北海道)  
03/11 檀原先生  
OGSG 0002 phase I / II ACOS(Seoul) 03/11  
辻伸先生  
OGSG 0001 phase II ACOS(Seoul) 03/11  
今村先生

## (2) 今後の活動

- 1) NPO法人「臨床試験推進機構」が発足し、  
OGSG経営基盤が強化される。  
\*会計事務所「林 公認会計士事務所」と  
契約。  
\*メンバーの役割を明確にする。
- 2) 第Ⅲ相試験の準備・開始。  
\*比較第Ⅱ相試験もしくは第Ⅲ相試験を行  
う。  
\*他の地域のstudy groupまたは施設に参  
加を呼びかける。

## (附録)

- OGSG 0001 進行再発胃癌に対するCPT-IIの24  
時間持続点滴静注+CDDP併用療法の第  
II相臨床試験」  
OGSG 0002 「進行・再発胃癌に対するCPT-11  
+TS-1併用療法の第I / II相臨床試験」  
OGSG 0003 「進行胃癌に対するCPT-11 +  
CDDP術後併用療法の第II相臨床試験」

- OGSG 0004 「進行胃癌に対する術前TS-1/  
CDDP療法+外科手術の第II相臨床試  
験」  
OGSG 0101 「手術不能進行・再発胃癌に対す  
るDocetaxel/Irinotecan併用化学療法の  
第II相臨床試験」  
OGSG 0102 「進行・再発大腸癌に対する  
CPT-11+UFT-E併用化学療法の第I /  
II相臨床試験」  
OGSG 0103 「進行再発胃癌に対するTS-12週  
投与1週休薬投与法臨床第II相試験」  
OGSG 0104 「進行再発胃癌に対するTXL +  
CPT-11併用療法の第I / II相臨床試験」  
OGSG 0105 「進行再発胃癌におけるTS-1と  
Paclitaxel(Taxol:TXL)併用化学療法の  
第I / II相臨床試験」  
OGSG 0201 「転移性大腸癌に対するCPT-  
11/5-FU/L-LV併用化学療法の第II相臨  
床試験」  
OGSG 0202 「胃癌術後の予防的抗生物質投与  
の必要性に関する第II相臨床試験」  
OGSG 0203 「進行胃癌に対する術後CPT-11 +  
TS-1併用化学療法の第II相パイロット  
臨床試験-Feasibilityに関する検討」  
OGSG 0301 「A群：chemoradiation（化学放  
射線療法）後再発例、B群：Ope.+化学  
療法（放射線除く）後再発例に対する  
Nedaplatin/Adriamycin/5-FU併用療法  
のphase I study」  
OGSG 0302 「進行・再発胃癌に対するpacli-  
taxel(Taxol)とDoxifluridine(Furtulon)  
の併用化学療法臨床第II相試験」